

令和6年度 全国学力・学習状況調査結果の概要について

八百津町教育委員会

1 調査の概要

(1) 調査の目的（文部科学省実施要領より）

義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、

- 全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- 学校における児童生徒への学習指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。
- そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

(2) 調査の対象学校・対象学年

- ①対象学校・・・八百津町内全公立小中学校〔小学校4校、中学校2校〕
- ②対象学年・・・小学校第6学年、中学校第3学年

(3) 調査内容

- ① 教科に関する調査〔国語、算数・数学〕
- ② 学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する質問紙調査

(4) 調査日 令和6年4月18日(木)

2 教科に関する調査結果の分析

（分析の記述後段の数字等は問題番号。調査問題等は国立教育政策研究所HPで公開されています。）

小 学 校

◇よくできていること

【国 語】

- ・話し言葉と書き言葉の違いに気付くこと・・・1二（1）
- ・資料を活用するなどして、自分の考えが伝わるように表現を工夫すること
・・・1二（2）
- ・目的や意図に応じて、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝えたいことを明確にすること・・・2一（1）

【算 数】

- ・図形を構成する要素やそれらの位置関係に着目し立体図形について考察すること・・・3（2）
- ・除数が小数である場合の除法の計算をすること（道のりと時間と速さ）
・・・4（1）

◆考えていきたいこと

【国 語】

- ・情報と情報との関係付けの仕方、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解しつかうこと・・・2一（2）

- ・学年別漢字配当表に示されている漢字を文の中で正しく使うこと
・・・ 2 三ア

【算 数】

- ・乗法の性質や除法の除数と商の大きさの関係について考察すること
・・・ 2 (1)
- ・級の直径の長さや立方体の一辺の長さの関係を捉え、立方体の体積の求め方を式に表すこと・・・ 3 (3)
- ・角柱の底面や側面に着目し、五角柱の面の数とその理由を言葉と数を用いて記述すること・・・ 3 (4)
- ・道のりが等しい場合の速さについて、時間を基に判断し、その理由を言葉や数を用いて記述すること・・・ 4 (3)

中 学 校

◇できていること

【国 語】

- ・文章と図とを結び付け、その関係を踏まえて内容を解釈すること・・・ 2 一
- ・短歌の内容について、描写を基に捉えること・・・ 4 三

【数 学】

- ・問題場面における参考の対象を明確に捉え、正の数と負の数の加法の計算すること・・・ 6 (1)
- ・二つのグラフにおける y 軸との交点について、事象に則して解釈すること
・・・ 8 (1)
- ・事象を数学的に解釈し、問題解決の方法を数学的に説明すること・・・ 8 (2)

◆考えていきたいこと

【国 語】

- ・必要に応じて質問しながら話の内容を捉えること・・・ 1 一
- ・文脈に則して漢字を正しく書くこと・・・ 3 三
- ・表現の効果を考え描写するなど、自分の考えが伝わる文章になるように工夫すること・・・ 3 四
- ・行書の特徴を理解していること・・・ 4 三

【数 学】

- ・等式を目的に応じて変形すること・・・ 1
- ・簡単な場合について、確率をもとめること・・・ 5
- ・複数の集団のデータの分布の傾向を比較して読み取り、判断の理由を数学的な表現を用いて説明すること・・・ 7 (2)
- ・事象を核の大きさに着目して観察し、問題解決の過程や結果を振り返り、新たな性質を見いだすこと・・・ 9 (2)

3 今後、さらに学力向上を図るため推進すること

- ICT機器（電子黒板・タブレット端末等）の使用目的や使用の必要性を考えた上で、より効果的な活用方法について工夫する。
- 授業において、単元の見通しをもち、「本時のねらい→課題→学習活動→定着の評価」の過程を確立させ、ねらいから評価までの一体化を図る。
- 個に応じたきめ細かな指導を充実し、どの子にも、基礎的基本的な知識や技能の定着を図る授業を行う。
- 家庭との連携を充実し、家庭学習の定着を図る。
- 朝の読書活動や授業における教材と関わらせた読書活動の充実を図る。

4 生活習慣や学習環境に関する調査結果の分析

小学校

◇良い結果であったこと。

- ・朝食を毎日たべること。毎日同じ時間に寝る、起きること。
- ・自分には良いところがあると思うこと。
- ・自分の良いところを認めてくれていると思うこと。
- ・人が困っているときに進んで助けている。
- ・学校に行くのは楽しいと思う。
- ・人の役に立ちたいと思うこと。
- ・地域や社会をよくするために何かしてみたいと思っていること。
- ・将来の夢や目標を持っていること。
- ・いじめはどんな理由があってもいけないことだと思うこと。
- ・普段の生活の中で、幸せな気持ちになることが多い。
- ・分からないことや詳しく知りたいことがあったときに、自分で学び方を考え、工夫することができていること。

◆考えていきたいこと

- ・自分と違う意見について考えること。
- ・家で自分で計画を立てて勉強をすること。

中学校

◇良い結果であったこと

- ・朝食を毎日たべること。
- ・自分には良いところがあると思うこと。
- ・自分の良いところを認めてくれていると思うこと。
- ・人が困っているときに進んで助けている。
- ・学校に行くのは楽しいと思う。

- ・人の役に立ちたいと思うこと。
- ・地域や社会をよくするために何かしてみたいと思っていること。
- ・人に役立つ人間になりたいと思う。
- ・友人関係には満足している。

◆考えていきたいこと

- ・家で自分で計画を立てて勉強をすること。

5 今後、生活全般において「生きる力」をさらに育成するために

- すべての子どもたちに、地域や社会のために役立つ『夢・志』をもたせていく。そして、その実現のため努力させていく。
- たくましく生き抜いていく子どもを育てるために『生きる力の育成』を図っていく。子どもたちに、『確かな学力』、『思いやりの心』、『健康や体力の向上』などを一層磨き、一人一人を輝かせていく。
- 『子どもたちを磨き鍛えること』、『関わり合いの教育を進めること』、『当たり前のことは当たり前でできること』に、こだわっていく。
- 地域とのつながりを大切にしたい取組の充実を図る。